

分類：臨床医学Ⅲ  
授業科目名：精神（Psychiatry）  
対象学年：4年次必修  
時間割コード：71633011  
開設学期等：第1週～第6週  
単位数：2

1. 主任教員

三島 和夫（教授、精神科学講座北臨床棟4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00）

2. 担当教員

三島 和夫（教授、精神科学講座北臨床棟4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00）

竹島 正浩（講師、精神科学講座北臨床棟4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00）

細谷 倫子（助教、精神科学講座北臨床棟4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00）

伊藤 結生（助教、精神科学講座北臨床棟4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00）

平野 梨聖（医員、精神科学講座北臨床棟4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00）

藤原 大（医員、精神科学講座北臨床棟4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00）

馬越 秋瀬（医員、精神科学講座北臨床棟4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00）

渡邊 真由美（、精神科学講座北臨床棟4階、6122、オフィスアワー：9:00-17:00）

伏見 雅人（非常勤講師、秋田大学保健管理センター 教授）

綾部 直子（非常勤講師、秋田大学教育文化学部地域文化学科 講師）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

1. ねらい

精神障害の特徴は、中枢神経系高次機能の障害としての生物学的特性を有する点と、個人を取り巻く心理・社会的要素が環境因子としてその病態や臨床に影響するという点にある。したがって、生物・心理・社会という多面的なとらえ方が、精神障害の病態を理解し、診療を実践していく上で重要である。本講義においてもこの点に留意して知識を習得する。精神と行動の障害を生物-社会-心理-倫理の全人的な立場から俯瞰し、児童・思春期から老年期に至る全てのライフステージにおいて生じうるさまざまな精神疾患の病態生理、診断、治療を理解し、良好な患者と医師の信頼関係にもとづいた精神医療を学ぶ。また、関連する医学行動科学、医療倫理、医療安全、医療法（医療制度）、EBMについて実践的に学ぶ。

2. 概要（学修目標）

以下の精神疾患の概念と診断、治療に関する基本的知識を習得する。

- (1) 患者 医師の良好な信頼関係に基づく精神科面接の基本を説明できる。
- (2) 診察・検査を通じて精神障害の診断・治療の流れを理解できる。
- (3) 精神障害の診断基準である DSM-5 や ICD-10、睡眠障害国際分類について説明できる。
- (4) 精神保健福祉法に基づく入院形態の区分と適応について理解できる。
- (5) 以下の精神疾患の主要症状、診断、治療について理解できる。
  - a. 統合失調症
  - b. うつ病
  - c. 双極性障害（躁うつ病）
  - d. 症状精神病
  - e. 認知症
  - f. 物質使用障害
  - g. 不安障害群と心的外傷及びストレス因関連障害群
  - h. 身体症状症及び関連症群、食行動障害及び摂食障害群
  - i. 睡眠-覚醒障害
  - j. 解離性障害
  - k. パーソナリティ障害
  - l. 知的能力障害
  - m. 自閉症スペクトラム障害、注意欠如・多動障害、運動障害群

- (6) 精神療法（心理社会的治療法）と薬物療法を主とした身体療法について、適応、方法、問題点について理解できる。

- (7) 睡眠脳波や睡眠潜時反復検査などを含む脳波検査について理解できる。
- (8) 精神科医療の法と倫理に関する必須項目(精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、心神喪失者等医療観察法、インフォームド・コンセント、共同意思決定)について習得する。
- (9) コンサルテーション・リエゾン精神医学を説明できる。
- (10) 精神科医にならない場合にも必要な精神科領域の診療能力について習得し、必要に応じて精神科へコンサルテーションする技法について理解する。
- (11) 本領域が関連するプロフェッショナリズム、医の倫理、医療安全、医療法(制度)、EBMについて説明・実践できる。

#### 4. 教科書・参考書

- ・標準精神医学(尾崎紀夫 他編 医学書院)
- ・カプラン臨床精神医学テキスト(井上令一 監修 メディカル・サイエンス・インターナショナル社)
- ・DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル(高橋三郎、尾崎紀夫 他訳 医学書院)
- ・ICD-10 精神及び行動の障害 臨床記述と診断ガイドライン(融 道男 他訳 医学書院)

#### 5. 成績評価の方法

統一試験により、成績を評価する。ただし、統一試験の受験資格の認定は以下の通りとする。精神医学の講義をそれぞれ2/3以上出席することを前提とする。

#### 6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

- ・指定教科書は事前に指示するので、講義初日までに用意し、予習して受講すること。
- ・指定教科書に授業の重要ポイントを記載するなどして学修すると、講義後の復習に役立つ。
- ・配布された資料を繰り返し復習すること。
- ・担当教員の予定などにより、講義内容、講義時間を若干変更する場合がある。
- ・疑問点はいつでも担当教員に質問することができる。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	4月11日 (月)	5-6時限	講義	テーマ：精神医学と心理・社会・脳科学 精神疾患の発症に関わる心理、社会的要因を説明できる。思考、感情、意欲、認知機能に関わる脳内神経基盤を説明できる。	三島 和夫	第二病棟 2階多目的室
2	4月11日 (月)	7-8時限	講義	テーマ：精神疾患の概念と精神医療 精神疾患の概念、精神医療の歴史、今後の課題について理解し、説明できる。	三島 和夫	第二病棟 2階多目的室
3	4月11日 (月)	9-10時限	講義	テーマ：精神症候学 1 精神症状の基本スペクトラムについて理解し、精神疾患の症候を正しく記載できる。	三島 和夫	第二病棟 2階多目的室
4	4月14日 (木)	5-6時限	講義	テーマ：精神症候学 2 精神症状の基本スペクトラムについて理解し、精神疾患の症候を正しく記載できる。	三島 和夫	第二病棟 2階多目的室
5	4月14日 (木)	7-8時限	講義	テーマ：精神症候学 3 精神症状の基本スペクトラムについて理解し、精神疾患の症候を正しく記載できる。	三島 和夫	第二病棟 2階多目的室
6	4月14日 (木)	9-10時限	講義	テーマ：精神科診断学 精神科診断分類法の変遷を学び、DSM-5およびICD11による精神疾患の診断体系を説明できる。	三島 和夫	第二病棟 2階多目的室
7	4月18日 (月)	5-6時限	講義	テーマ：統合失調症 1 統合失調症の症候と診断法、基本的な治療法、救急での対応法を説明できる。	三島 和夫	第二病棟 2階多目的室
8	4月18日 (月)	7-8時限	講義	テーマ：統合失調症 2 統合失調症の症候と診断法、基本的な治療法、救急での対応法を説明できる。	三島 和夫	第二病棟 2階多目的室
9	4月18日 (月)	9-10時限	講義	テーマ：不安症 / 強迫症 不安障害群、強迫性障害および関連症群の症候と診断を説明できる。	竹島 正浩	第二病棟 2階多目的室
10	4月21日 (木)	5-6時限	講義	テーマ：うつ病 大うつ病および関連障害群の症候と診断を説明できる。	細谷 倫子	第二病棟 2階多目的室
11	4月21日 (木)	7-8時限	講義	テーマ：双極性障害・気分変調症など 双極性障害(躁うつ病)、気分変調症および関連障害群の症候と診断を説明できる。	細谷 倫子	第二病棟 2階多目的室
12	4月21日 (木)	9-10時限	講義	テーマ：解離症 / 身体症状症 解離性障害、身体症状症および関連症群の症候と診断を説明できる。	竹島 正浩	第二病棟 2階多目的室
13	4月25日 (月)	5-6時限	講義	テーマ：ストレス因関連障害 (PTSD・適応障害) 心的外傷およびストレス因関連障害 (PTSD・適応障害) の症候と診断を説明できる。	藤原 大	第二病棟 2階多目的室
14	4月25日 (月)	7-8時限	講義	テーマ：神経発達症 1 知的能力障害群、自閉症スペクトラム障害および注意欠如・多動障害の症候と診断法を説明できる。	伊藤 結生	第二病棟 2階多目的室
15	4月25日 (月)	9-10時限	講義	テーマ：神経発達症 2 知的能力障害群、自閉症スペクトラム障害および注意欠如・多動障害の症候と診断法を説明できる。	伊藤 結生	第二病棟 2階多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
16	4月28日 (木)	5-6 時限	講義	テーマ：精神科面接・構造化面接法 / 家族・生活歴・社会機能評価の重要性 患者-医師の良好な信頼関係に基づく精神科面接の基本を理解する。家族歴、生活歴、社会機能の評価の重要性について説明できる。	伊藤 結生	第二病棟 2階多目的室
17	4月28日 (木)	7-8 時限	講義	テーマ：摂食障害 摂食障害(摂食制限型、過食・排出型)および関連障害群の症候と診断を説明できる。	馬越 秋瀬	第二病棟 2階多目的室
18	4月28日 (木)	9-10 時限	講義	テーマ：精神保健福祉法・司法精神医学 精神科医療の法と倫理に関する必須項目(精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、心神喪失者等医療観察法、インフォームド・コンセント)を説明できる。	竹島 正浩	第二病棟 2階多目的室
19	5月2日 (月)	5-6 時限	講義	テーマ：物質関連障害 / アルコール依存症 薬物使用に関連する精神障害やアルコール、ギャンブル等への依存症の病態と症候を説明できる。	藤原 大	第二病棟 2階多目的室
20	5月2日 (月)	7-8 時限	講義	テーマ：認知症 / 器質性精神障害 1 主要な認知症の臨床特徴、脳画像所見、鑑別診断と治療法を説明できる。主要な器質性精神障害の臨床特徴、身体所見、鑑別診断と治療法を説明できる。	三島 和夫	第二病棟 2階多目的室
21	5月2日 (月)	9-10 時限	講義	テーマ：認知症 / 器質性精神障害 2 主要な認知症の臨床特徴、脳画像所見、鑑別診断と治療法を説明できる。主要な器質性精神障害の臨床特徴、身体所見、鑑別診断と治療法を説明できる。	三島 和夫	第二病棟 2階多目的室
22	5月9日 (月)	5-6 時限	講義	テーマ：睡眠-覚醒障害 不眠症、過眠症、概日リズム睡眠-覚醒障害、睡眠時随伴症などの主要な睡眠-覚醒障害の症候と診断法を説明できる。	三島 和夫	第二病棟 2階多目的室
23	5月9日 (月)	7-8 時限	講義	テーマ：精神科薬物療法・身体療法 主要な向精神薬の薬理学的特性を理解し、精神科薬物療法の基本を説明できる。修正型電気けいれん療法、高照度光療法、経頭蓋磁気刺激療法の対象疾患と作用について理解する。	三島 和夫	第二病棟 2階多目的室
24	5月9日 (月)	9-10 時限	講義	テーマ：認知行動療法 / 精神分析学 / 精神療法 認知行動療法、精神分析学、精神療法の基本理論と対象患者、有効性について説明できる。	綾部 直子	第二病棟 2階多目的室
25	5月12日 (木)	5-6 時限	講義	テーマ：人格障害 / 性別違和 / 秩序破壊的・衝動制御・素行症群 性格・人格の類型を説明できる。人格障害群および性別違和の症候と診断法を概説できる。	三島 和夫	第二病棟 2階多目的室
26	5月12日 (木)	7-8 時限	講義	テーマ：リエゾン精神医学・せん妄 コンサルテーション・リエゾン精神医学を理解する。せん妄や抑うつ反応などリエゾン精神医学の対象になる精神疾患の主要症状について説明できる。	細谷 倫子	第二病棟 2階多目的室
27	5月12日 (木)	9-10 時限	講義	テーマ：精神腫瘍学・緩和ケア 精神腫瘍学(サイコオンコロジー)、がんと心の関係を精神医学、心理学について説明できる。	細谷 倫子	第二病棟 2階多目的室
28	5月16日 (月)	5-6 時限	講義	テーマ：症状性精神障害(化学物質中毒を含む) 主要な症状性精神障害の臨床特徴、身体所見、鑑別診断と治療法を説明できる。	平野 梨聖	第二病棟 2階多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
29	5月16日 (月)	7-8時限	講義	テーマ：てんかん てんかんおよび関連障害群の症候と診断法を説明できる。発作時の救急対応について説明できる。	竹島 正浩	第二病棟 2階多目的室
30	5月16日 (月)	9-10時限	講義	テーマ：精神機能評価法・心理検査法 質問紙法、ロールシャッハテスト、簡易精神症状評価尺度、ハミルトンうつ病評価尺度、Mini-Mental State Examination(MMSE)、改訂長谷川式簡易知能評価スケール等の心理学的検査法を説明できる。	渡邊 真由美	第二病棟 2階多目的室
31	5月19日 (木)	5-6時限	講義	テーマ：公衆衛生・精神保健、地域精神医療 精神疾患の疫学、精神保健、地域での精神医療および公衆衛生上の課題について理解し、説明できる。	伏見 雅人	第二病棟 2階多目的室
32	5月19日 (木)	7-8時限	試験	テーマ：形成試験 形成試験による理解度評価	三島 和夫	第二病棟 2階多目的室
33	5月19日 (木)	9-10時限	形成評価	テーマ：総括・講評（形成評価） 形成試験の解説により臨床精神医学についての理解を深める。	三島 和夫	第二病棟 2階多目的室